

住宅の敷地から バックで出てきた車にはねられ

北見で、高齢女性はねられケガ
後ろをよく確認していなかった

- ◇バック時は、一度の確認だけでなく、もう一度確認しましょう◇
◇バックは…『カメが歩くスピードの気持ちで!』◇

2018/3/22(木) 12:18

22日午前9時前、北見市北進町7丁目の市道で「人が車にはねられけがをしている」と消防に通報がありました。警察によりますと、はねられたのは高齢の女性で頭から出血し、意識がもうろうとした状態で病院に運ばれ、手当てを受けています。事故を目撃した人は「住宅の敷地から車がバックで出てきた後、近くを歩いていた人が急に見えなくなった」と話しているということです。

警察は乗用車を運転していた60代くらいの男性が後ろをよく確認していなかったとみて事情を聴いています。

横断歩道の小学生死傷事故 90%超で車に違反

4月6日から始まる、「春の全国交通安全運動」で
警察は悪質・危険な運転行為の取り締まりを強化

人が横断歩道を渡っていたり、渡ろうとしたりする時の一時停止や減速を怠る、

「歩行者妨害等」、「安全運転義務」、「信号無視」

横断歩道の赤信号を無視したり、急に飛び出したりといった、

子ども側に違反や過失があったのは16%

2018/3/22(木) 11:19

2017年までの5年間に起きた横断歩道を歩行中の小学生が死傷した交通事故で、90%を超えるケースで車両側に一時停止を怠るなどの違反があったことが警察庁の分析でわかった。4月6日から始まる「春の全国交通安全運動」で警察は悪質・危険な運転行為の取り締まりを強化する。人が横断歩道を渡っていたり、渡ろうとしたりする時の一時停止や減速を怠る、「歩行者妨害等」、「安全運転義務」、「信号無視」などだった。一方、横断歩道の赤信号を無視したり、急に飛び出したりといった子ども側に違反や過失があったのは16%だった。なかには双方に違反や過失があった事故もある。